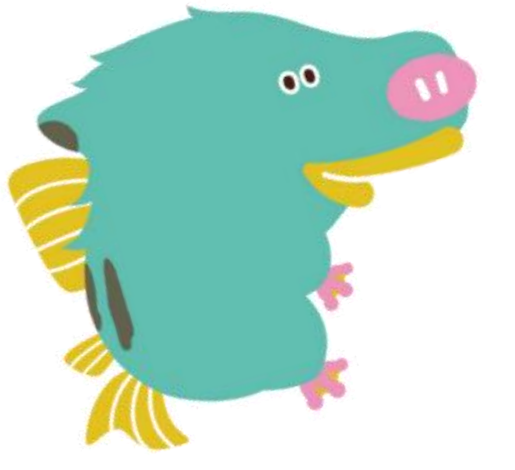


# 矢作川流域圏懇談会

## “流域はひとつ、運命共同体”

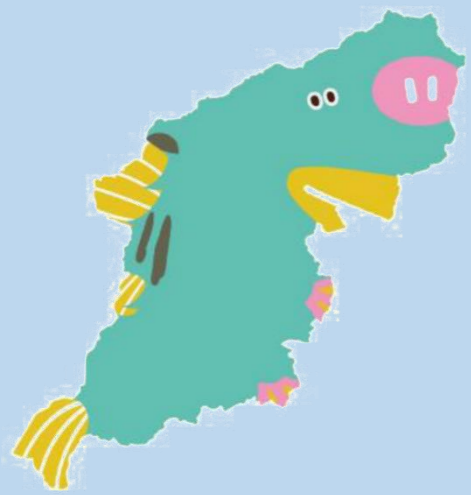


### 矢作川流域圏懇談会とは

「矢作川流域圏懇談会」は、河川管理者が河川整備計画の枠組みだけでは解決できない課題に対して、市民、学識者、行政と様々な組織や機関が連携・協働し、流域圏全体の発展につなげることを目指し、平成22年度8月に設立しました。

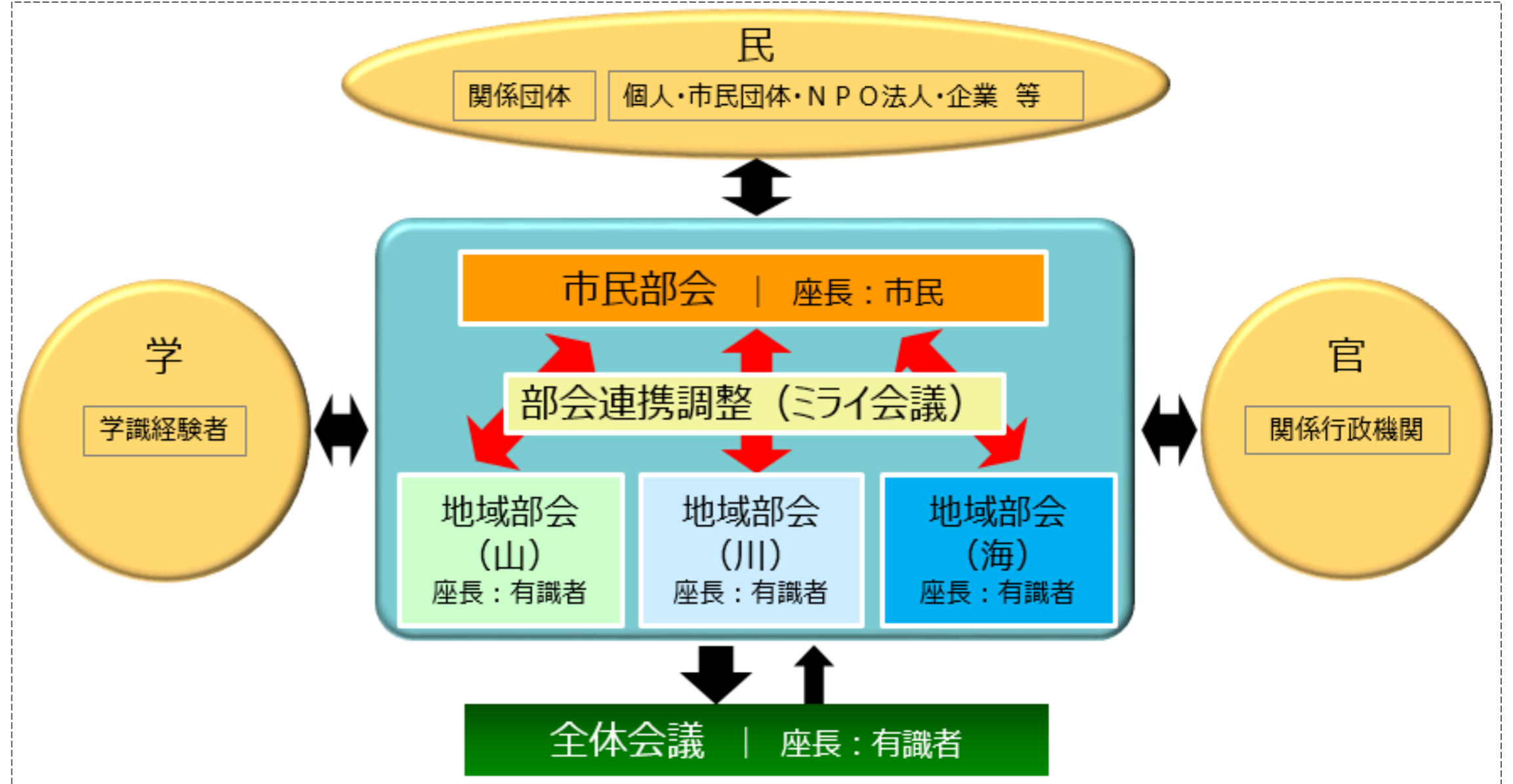
本懇談会は、「市民部会」・「地域部会（山・川・海）」で構成され、それぞれの部会が設定した課題について、その解決方法を探るために話し合いや現地視察などの活動を行っています。

また、令和3年度には、懇談会活動を活性化させる目的で新たに「部会連携調整（ミライ会議）」を設置しました。現在は、各部会の進捗状況の共有や、継続して活動していくための企画を検討しています。



矢作川流域のゆるキャラはぎぼう

シルエットは矢作川流域の形にちなんでいます！



### 市民部会の課題

- ・ 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化
- ・ 市民視点による流域連携テーマの議論
- ・ 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- ・ 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- ・ 今までつながりの薄かった農業・工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる  
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

### 懇談会の最近の活動と目指す姿

新型コロナウイルスを逆手に取った取り組み

・オンライン公開講座の開催

令和2年度に、本懇談会で流域全体の課題となっていた「マイクロプラスチック」および「ネオニコチノイド系農薬」が及ぼす環境への影響について、ZOOMによる公開講座を開催しました。今年度の8月には、「海の栄養塩不足」に関する公開講座を開催しました。

矢作川流域の山から海まで、流域圏の課題解決に向け、豊かな矢作川流域を維持していきます。

### 地域部会（山・川・海）の課題

山部会

・人と山村の課題

山村における若者の就業機会の少なさ、定着率の低さ、過疎化・高齢化の進行

・森林の課題

管理不足で過密化した水消費型森林や放置人工林からの土砂流出・崩壊の危険性の増加

川部会

・上下流問題

多様な物理環境と生物生息環境の創出、土砂供給不足の問題

・地先の課題（地域の人々と川との関係）

河川空間の利用・保全のあり方

海部会

・海の生き物を取りまく課題

ごみの問題、豊かな海の再生、栄養塩不足の問題

・海と人の課題

海と人の絆再生、干潟・ヨシ原再生

ふりがな 川や水辺の名称	やはぎがわ 矢作川（矢作川水系）	矢作川流域圏懇談会 “流域はひとつ、運命共同体”
所在地	愛知県・岐阜県・長野県	
応募者名（ふりがな） 所属団体名	山路 哲（やまじ てつ） 国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所	